

社会福祉法人塩釜市社会福祉協議会
令和元年度第1回小規模多機能型居宅介護松ぼっくり運営推進会議
議事録

1. 日 時 令和元年5月28日（火曜日）
開会 午後6時～ 閉会 午後6時47分
2. 場 所 小規模多機能型居宅介護松ぼっくり
3. 出席者 三上長治 永野やすえ 櫻井實 中村成子
(委員総数5名中4名出席)

松ぼっくり
早坂所長 加藤主任

社会福祉協議会
山本次長 曾根課長

欠席者 畑中敬一

1.開 会

2.あいさつ 山本次長

(各委員が自己紹介をした)

3.協 議 (要旨)

①利用者動向 (加藤主任)

- ・ 現在23名登録。女性17名、男性6名。
- ・ 要支援1 2名 要支援2 1名 要介護1 6名
要介護2 3名 要介護3 7名 要介護4 1名
要介護5 3名 平均介護度2.47
- ・ 問い合わせ・相談・見学は3件。4月2名退所。
- ・ 要介護3で88歳の女性利用者、4/25より喘鳴があり通院。肺に水が溜まり誤嚥性肺炎とのことで坂HPに入院。5/25に退院し翌日よりサービス再開。足取り悪く、尿意も訴えない。食欲も低下し体重も

2kg 減。

- ・ 要介護 2 で 78 歳の女性利用者、4/28 に自宅で転倒し市立 HP へ救急搬送。普段は鍵をかけている窓から外に出ようとした。退院後、次女宅へ転居。仙台の小規模多機能型居宅介護事業所へ移行。
- ・ 要介護 1 で 75 歳の女性利用者。県営住宅に在住、ゴミ屋敷。スーパーで大量の食品を購入し、食わず溜め込む。お金の管理ができず、クレカで決済していた。4 月に地域ケア会議をして各機関で役割分担を決め、今後について話し合っていた。5/21、七十七銀行に 7~8 回訪問し、印鑑の相違で引き出しができず警察に保護される。福祉事務所より連絡があり、5/22 に緑ヶ丘病院に医療保護入院となる。1 人暮らしで、キーパーソンは埼玉の実弟の嫁。そちらの施設に移行となるかもしれない。
- ・ 日中は 12 名、泊まりは 3~4 名の利用がある。訪問は 1 日あたり 16 件が組まれている。
- ・ 昨日、利用者宅を訪問したら部屋を閉め切った上でヒーターをつけていた。

(永野委員)

75 歳女性の方はまだ松ぼっくりに籍はあるのか？

(早坂所長)

まだある。福祉事務所と連携を取りながら次の施設を探す。室内がゴミであふれていたが、市の方が入り、処分したとのこと。義妹の話。

②行事・今後の予定 (加藤主任)

- ・ 利用者誕生会、5 月 2 名、6 月 1 名。
- ・ 6/14、社協職員向け認知症サポーター養成講座受講。
- ・ 6 月、多賀城あやめ園へ外出。
- ・ 7/8、消防立ち入り検査。

③その他

- ・ 昼食ボランティアが 1 名加入。月曜日担当の方が「高齢で引退したい」とのことので入れ替わり。今後もスポット的な応援はいただく。
- ・ エアコン 1 台が故障。建築当時のもので修理が困難で新品と入れ替え。各所に経年劣化の不具合が多くなっている。
- ・ 浴室に羽蟻が発生。
- ・ GW 期間中は特に問題なく過ごせた。

(桜井委員)

利用させてもらい本当に助かっている。

(三上委員)

認知症、それに伴う事故、日本のどこでもその傾向なのかなと思う。まだ大きな事故が出ていないのでいい。高齢者の自動車運転事故が社会問題となっているが、ここの利用者は免許を持っていないか？

(早坂所長)

もう運転はしていない。

(三上委員)

高齢になれば乗らない方がいい。だが、塩釜の場合、交通の便が悪く車は必需品。日中はバスがあるが、7時以降だとない。車に乗らなくていい環境を作らなければならない。本数、運行時間、コースなど検討が必要。自分もいつ事故を起こすか分からない。家族から「自動ブレーキ付きの車へ」と頼まれ買い換えてしまった。ドライブレコーダーも付けた。

(早坂所長)

ここの道路も交通量が激しく、バスの事故があった。

(三上委員)

その時は、怪我人がでたのか？

(加藤主任)

無かったと思う。

(早坂所長)

先々週は千賀の台で死亡事故があった。

(三上委員)

それも70歳を過ぎている高齢者の事故だった。

(永野委員)

塩竈市で500日死亡事故ゼロの記録を達成したばかりだった。それが名取市在住の方の事故で途切れてしまった。

(三上委員)

他の土地の人だと道路状況が分からない。あそこはカーブがきつい。見通しも。

(永野委員)

銀行で保護された方について、保護される前にやるべきことがあったと思う。ちょっと残念。責めている訳ではない。

(三上委員)

この方は最近認知症が強くなったのか？

(早坂所長)

以前からだ。昨年、北部 2 地区包括から相談があった。金銭管理ができていなかった。

(三上委員)

県営住宅の方から情報提供があった。包括センターが関わっていたので、安心はしていた。見た目は普通だ。自宅を訪問すると出てくるまで時間がかかる。話が終わると直ぐドアを閉める。

(加藤主任)

「来てくれて嬉しいの」と言ったり、見送ってくれたりと変わってきていた。

(永野委員)

でも、緑ヶ丘 HP を受診できて良かった。

(三上委員)

埼玉県の家族は息子？

(早坂所長)

本人の実の弟の奥様。

(三上委員)

埼玉の住所までは把握していなかった。電話番号のみ。

(早坂所長)

複雑な家族関係があるようだ。

(三上委員)

楓町に娘がいるという話だが？

(早坂所長)

子供がいるという話は聞いていない。

(永野委員)

三上委員から話のあった高齢者の自動車運転の件。4/13、松陽台三丁目でアクセルとブレーキの踏み違いがあり、道路向かいの家の車に追突する事故があった。50年の運転歴があった。自動ブレーキも装着していたが、作動しなかった。子供たちも多く通る道なので巻き込まれなくて良かった。

(三上委員)

自分も身体の動きが鈍くなっていると感じる。

(早坂所長)

利用者で70代の方、昨年、運転免許を返納した。元々、タクシーの運転手。

(三上委員)

返納した場合の特典をもう少し付ければいい。タクシー2割引とか。全ての地域で共通使用できるようなもの。戦闘機を買うお金があったら福祉に使って欲しい。

(曾根課長)

車の安全装置も国の施策で無料装着できるような仕組みがあっていい。

(中村委員)

長寿社会課に配属前は市民安全課におり、正に交通安全を担っていた部署だった。死亡ゼロを500日達成して、県警から賞状をいただいた矢先のことだった。500日は何度かクリアしてきたが、その先が続かない。免許の返納についても議会では話題に上がっていた。引き続きの検討課題だ。100円バスは本数やルートを増やしながらかやっており、利用率もかなり上がっている。一方、バスを利用できない方もいる。「自分が免許を返せば家族を病院へも買い物へも連れていけない」とのこと。バス以外の選択も考えていかなければならないが、具体的などころまで至っていない。安全協会も東西南北とあり、一生懸命活動されているが、高齢化が顕著という課題もある。

(永野委員)

なぜあんなところで車がひっくり返ったのか疑問だ。有料道路に乗ろうとして道を間違えUターンしようとしたのだろうか？「せっかく500日を達成したのに」と残念がっていた。

(中村委員)

表彰されてすぐだったので残念であった。

(永野委員)

認知症サポーター養成講座はどこでやるのか？

(早坂所長)

本部事務局 2 階会議室だ。

(曾根課長)

表向き社協職員向けではあるが、希望があればどなたでも受講可能。講師は北部 1 地区地域包括支援センターの職員が務める。

次回 7 月 26 日 (木) 18:00～